

石川県地震概況（令和6年10月）

令和6年11月15日
金沢地方气象台

1. 概況

令和6年（2024年）10月に石川県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は14回（先月18回）で、いずれも令和6年能登半島地震の活動域（図の領域a）で発生しました。

石川県能登地方では、地震活動が活発な状態が続いています。（令和6年11月 地震防災メモ②を参照）。

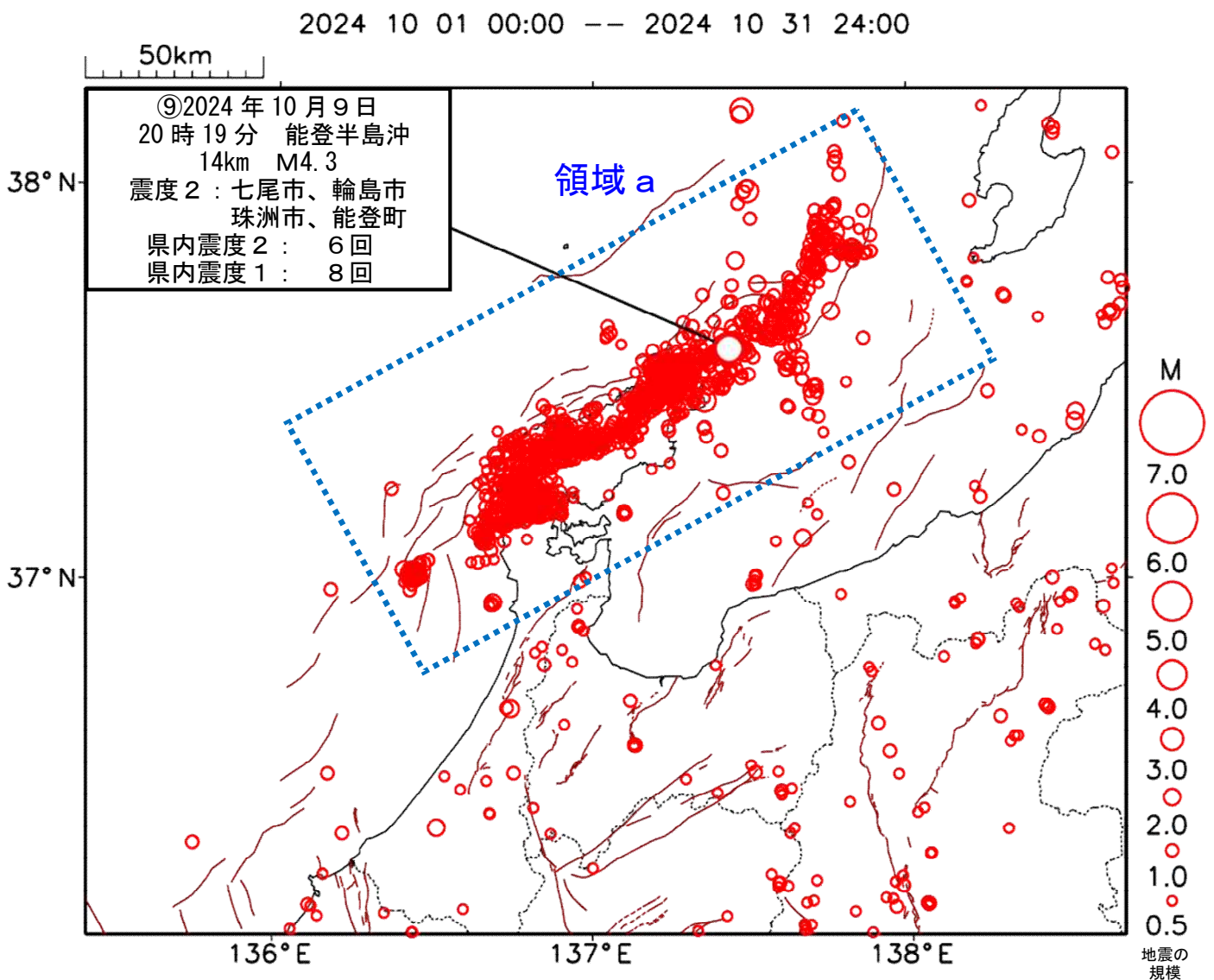


図1 令和6年（2024年）10月の深さ30km以浅、M0.5以上の地震の震央分布図
地殻内で発生した地震のみ表示している。

図の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

①などの数字は4項「震度1以上を観測した地震の表」の地震を示す。

この資料は速報であり、後日の調査により修正することがあります。

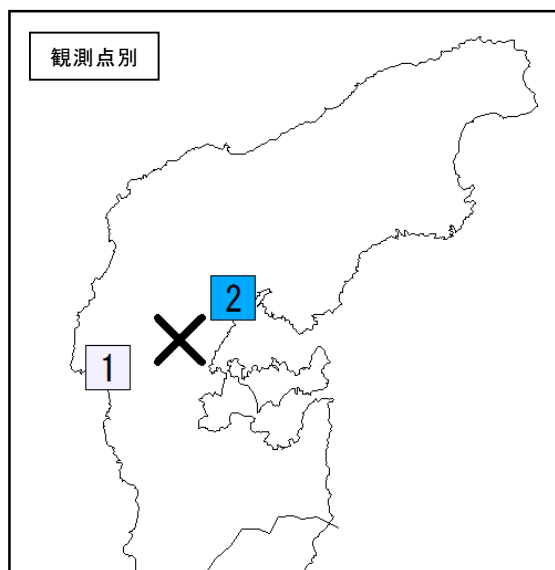
2. 過去1年間に石川県内で震度1以上を観測した地震の震度別回数表

年	2023年		2024年										
月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
震度1	4	8	938	97	49	33	20	27	18	12	14	8	1228
震度2	1	1	388	35	17	9	6	5	4	4	4	6	480
震度3	0	0	158	11	4	4	2	1	1	1	0	0	182
震度4	0	0	46	3	0	0	0	1	0	0	0	0	50
震度5弱	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
震度5強	0	0	8	0	0	0	0	1	0	0	0	0	9
震度6弱	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
震度6強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	5	9	1547	146	70	46	28	35	23	17	18	14	1958

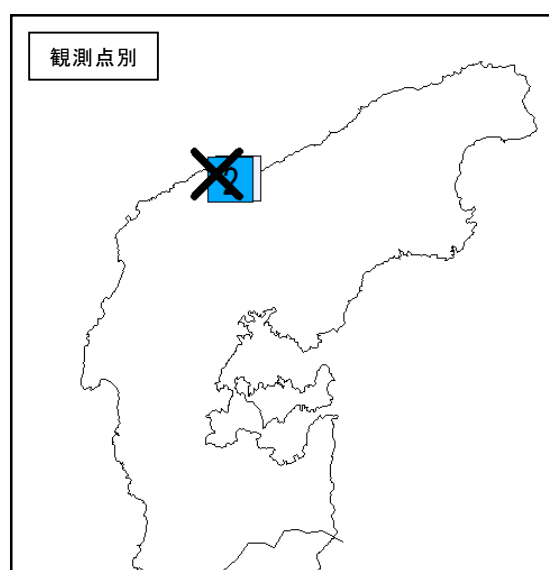
3. 令和6年（2024年）10月に石川県内で震度1以上を観測した地震の震央と震度分布図 ※令和6年能登半島地震の活動域（領域a）の地震活動については最大震度2以上の震度分布図のみ掲載。

震度1以上の地震については気象庁HP「震度データベース検索」※を参照

※ <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html>

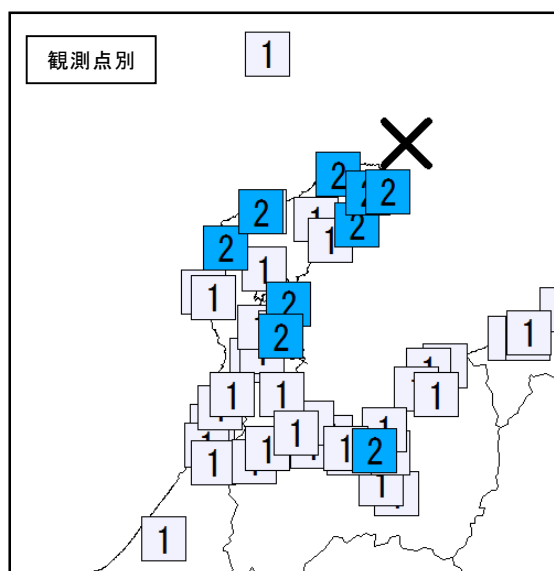


③10月3日05時08分 石川県能登地方
深さ 11km M 3.2（能登地方）

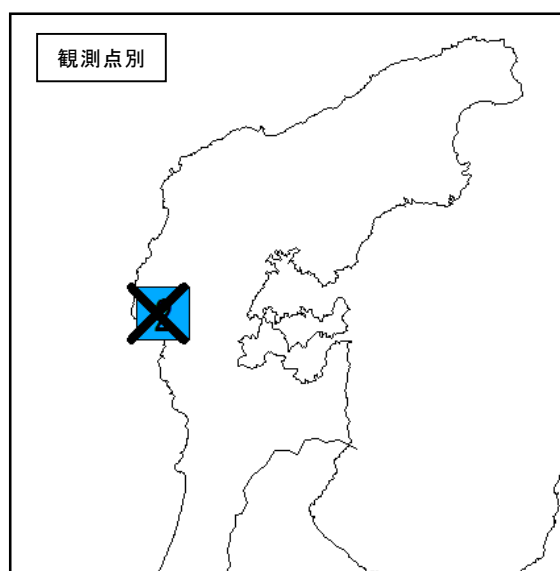


⑥10月6日06時21分 石川県能登地方
深さ 8km M 2.5（能登地方）

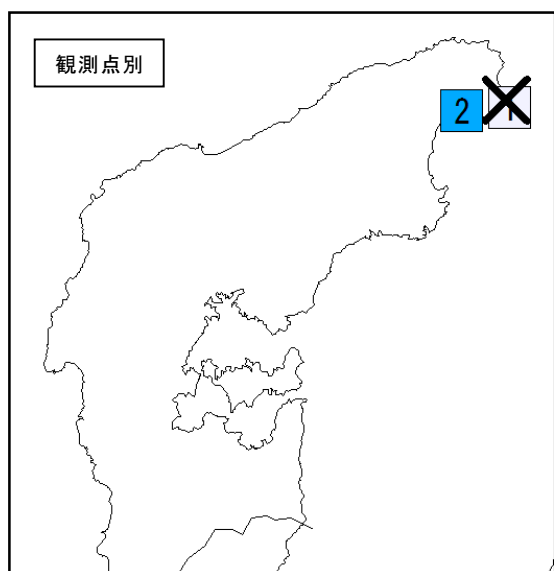




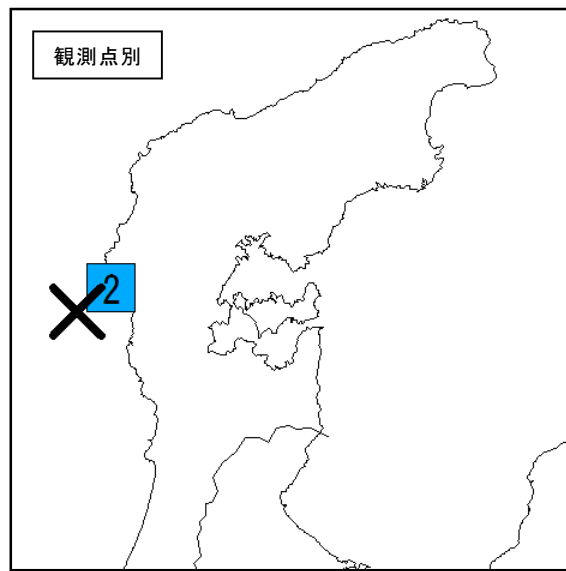
⑨10月9日20時19分 能登半島沖
深さ 14km M 4.3 (石川県周辺)



⑪10月13日11時23分 能登半島沖
深さ 5km M 2.2 (能登地方)



⑫10月18日07時40分 石川県能登地方
深さ 10km M 3.0 (能登地方)



⑭10月26日18時26分 能登半島沖
深さ 9km M 2.7 (能登地方)

4. 令和6年(2024年)10月に石川県内で震度1以上を観測した地震の表

地震の発生日時 各地の震度	震央地名	緯 度	経 度	深 さ	地震の規模
① 10月1日05時11分 震度1 : 珠洲市大谷町 *	能登半島沖	37° 31.4' N	137° 14.4' E	11 km	M 3.3
② 10月1日18時52分 震度1 : 志賀町香能 *	石川県西方沖	37° 01.0' N	136° 26.4' E	9 km	M 3.4
③ 10月3日05時08分 震度2 : 穴水町大町 * 震度1 : 志賀町富来領家町	石川県能登地方	37° 10.6' N	136° 49.8' E	11 km	M 3.2
④ 10月4日19時02分 震度1 : 輪島市河井町 *	石川県能登地方	37° 20.4' N	137° 00.9' E	10 km	M 2.9
⑤ 10月5日16時05分 震度1 : 穴水町大町 *	石川県能登地方	37° 11.2' N	136° 49.4' E	12 km	M 2.9

⑥ 10月6日06時21分	石川県能登地方	37° 23.9' N	136° 52.5' E	8 km	M 2.5
震度2 : 輪島市鳳至町 震度1 : 輪島市河井町 *					
⑦ 10月8日09時26分	石川県西方沖	37° 01.2' N	136° 26.3' E	9 km	M 3.6
震度1 : 志賀町香能 *					
⑧ 10月8日09時35分	石川県西方沖	37° 01.1' N	136° 26.4' E	11 km	M 3.8
震度1 : 羽咋市柳田町, 志賀町香能 *					
⑨ 10月9日20時19分	能登半島沖	37° 35.3' N	137° 25.7' E	14 km	M 4.3
震度2 : 七尾市本府中町, 七尾市能登島向田町 *, 輪島市鳳至町, 輪島市門前町走出 *, 珠洲市三崎町, 珠洲市正院町 *, 珠洲市大谷町 *, 能登町松波 *					
震度1 : 七尾市袖ヶ江町 *, 七尾市垣吉町 *, 輪島市舳倉島, 輪島市河井町 *, 志賀町富来領家町, 志賀町香能 *, 穴水町大町 *, 宝達志水町子浦 *, 宝達志水町今浜 *, 中能登町末坂 *, 中能登町能登部下 *, 能登町宇出津, 能登町柳田 *, 津幡町加賀爪, かほく市宇野気 *, かほく市高松 *, 能美市来丸町 *					
⑩ 10月11日16時28分	石川県西方沖	37° 00.8' N	136° 26.1' E	9 km	M 3.4
震度1 : 志賀町香能 *					
⑪ 10月13日11時23分	能登半島沖	37° 08.6' N	136° 43.0' E	5 km	M 2.2
震度2 : 志賀町富来領家町					
⑫ 10月18日07時40分	石川県能登地方	37° 27.5' N	137° 21.2' E	10 km	M 3.0
震度2 : 珠洲市正院町 * 震度1 : 珠洲市三崎町					
⑬ 10月24日08時20分	能登半島沖	37° 08.9' N	136° 43.2' E	3 km	M 1.8
震度1 : 志賀町富来領家町					
⑭ 10月26日18時26分	能登半島沖	37° 07.6' N	136° 37.9' E	9 km	M 2.7
震度2 : 志賀町香能 *					

石川県で震度1以上を観測した地震について、石川県内の各地の震度を掲載しています。

* の付いた観測点は石川県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点、他は気象庁の観測点です。

この資料は速報であり、後日の調査により修正することがあります。

※この資料に関する問い合わせ先 金沢地方気象台 地震担当 電話番号 076-260-1462

金沢地方気象台ホームページにも掲載しています。 <https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/siryou.html>

「トップページ」>「気象台の刊行物・観測統計資料」>「農業気象速報・気象概況・地震概況・気象年報」から閲覧できます。

※本資料中のデータについて

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています

大津波警報・津波警報・津波注意報と津波予報区

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置をすぐに推定し、地震発生後約3分を目標に大津波警報、津波警報または津波注意報を、全国を66の区域に分けた津波予報区単位で発表します。（石川県の津波予報区は図2参照）

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (予想される津波の高さ 区分)	巨大地震 の場合の 発表	
大津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想される津波の最大波の高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m)		
		5m (3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の最大波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想される津波の最大波の高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。



図2 石川県の津波予報区

石川県能登・・・かほく市以南を除く
石川県加賀・・・かほく市以南に限る

図1 大津波警報・津波警報・津波注意報の区分及び
想定される被害と取るべき行動

予想される津波の高さは、「1m」、「3m」、「5m」、「10m」、「10m超」の5段階で発表します。例えば「津波の高さは5m」と発表されたら、3mから5mの間の津波が予想されたことを意味します。

ただし、マグニチュード8を超えるような巨大地震の場合は、精度のよい地震の規模をすぐに求めることができないため、その海域における最大の津波想定等をもとに大津波警報・津波警報・注意報を発表します。

その場合、最初に発表する大津波警報、津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」、「高い」という言葉で発表して、非常事態であることを伝えます。

その後、地震の規模（マグニチュード）や地震の発生メカニズム等の精査を行い、その結果をもとに予想される津波の高さを更新した津波警報・注意報を発表します。

○津波避難のポイント

- ・震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- ・津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってきます。大津波警報・津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。大津波警報・津波警報が出ている間は、絶対に戻ってはいけません。
- ・津波注意報が出ているところでは、海水浴や磯釣りは危険です。ただちに海から上がって、海岸から離れてください。

【防災事項】

- 1月1日に発生したM7.6の地震により揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているので、復旧活動などを行う場合には今後の地震活動や降雨の状況に十分注意。やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図る。
- 地震は海域でも発生しており、大きな地震が発生した場合は津波が発生することがあるので、避経路の確認などの備えも重要。
- 一連の活発な地震活動は当面継続するので、家具の固定、重量物の落下・転倒の防止を行うなど、強い揺れを伴う地震へ注意。
- 石川県では、9月21日の大雨の影響で地盤が脆弱になっている場所があり、土砂災害の危険性が通常より高いと考えられる。

【概況】

石川県能登地方では、2020年12月から地震活動が活発で、2023年5月頃からさらに活発となったあと、いったん地震活動が2020年12月以降の状態に戻ったが、2024年1月1日のM7.6の地震により、最大震度7を観測するなど能登半島を中心に強い揺れとなり、地震活動の更なる活発化とともに地震の発生領域も広がった。

1月1日から10ヶ月以上が経過し、地震の発生数は増減を繰り返しながら、大局的には緩やかに減少してきているが、依然として地震活動は活発な状態。

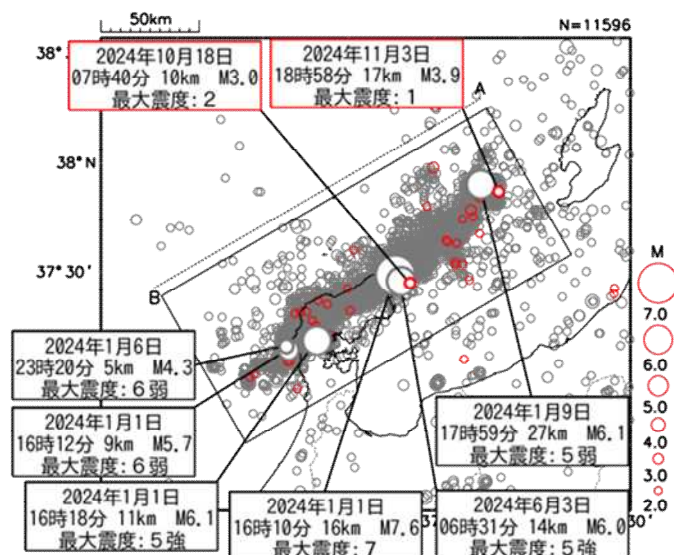
今期間（10月15日以降）、震度1以上の地震を6回観測した。今期間の最大規模の地震はM3.9の地震（11月3日18時58分、新潟県佐渡市で震度1）で、最大震度を観測した地震はM2.8の地震（10月18日07時40分、珠洲市で震度2）である。

※震度は震度計のある場所で観測したものを発表している。震度1以上の地震情報を発表していない場合でも、震源直上の現地では揺れや音などを感じていると考えられる（地下の浅いところで発生する地震の場合、震源直上の震度はマグニチュードの数値に相当する傾向が見られる。例えばM2程度なら震度2程度、M4程度なら震度4程度の目安）。

震央分布図 2020.11.1～2024.11.4 24時まで
M2.0以上、深さ30km以浅

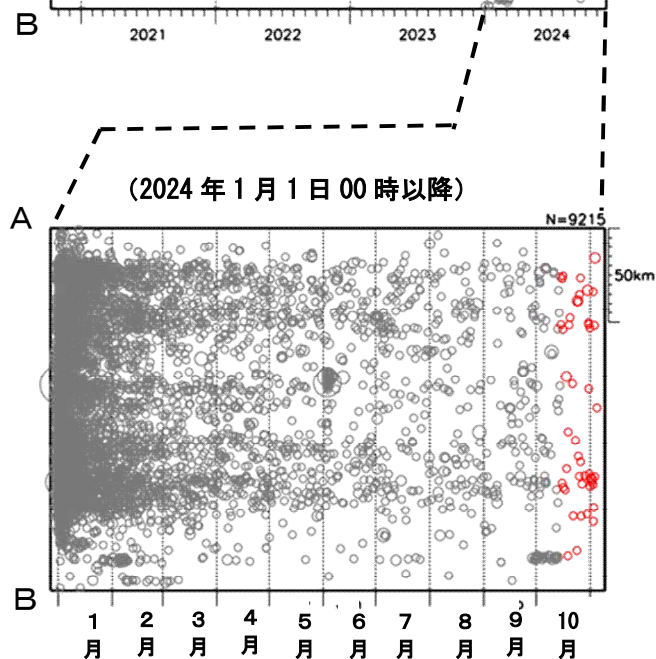
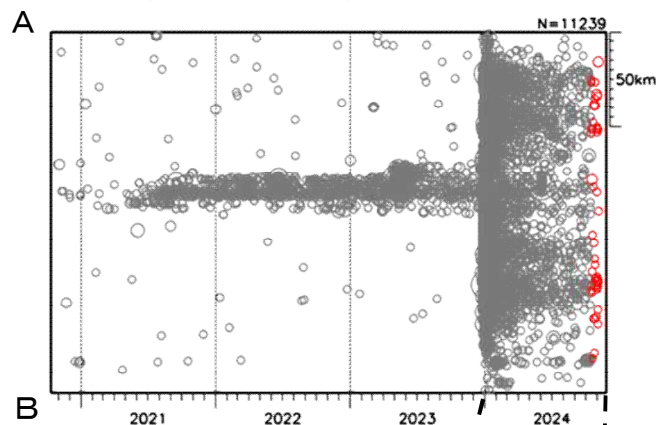
黒の吹き出しは、2024年1月1日以降の
震度6弱以上またはM6.0以上の地震

※10月15日以降の地震を朱色で表示
(赤の吹き出しは期間内最大M及び最大震度の地震)



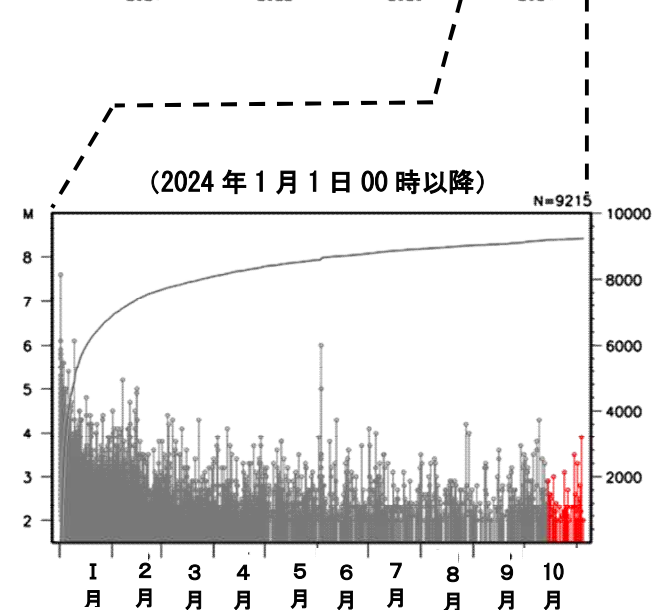
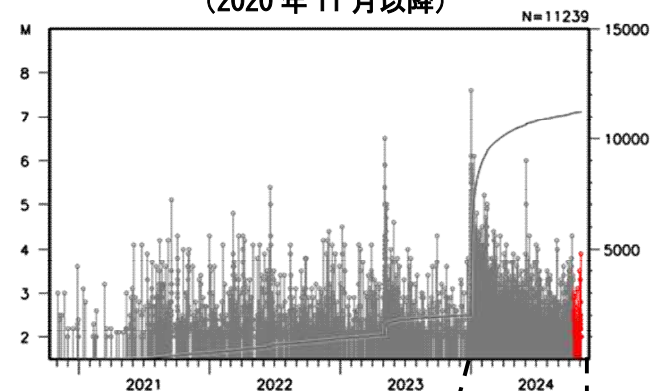
丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。
表示している震源のうち、11月4日00時以降
のものは速報値。

時空間分布図
(矩形領域内: A-B 投影、2020年11月以降)



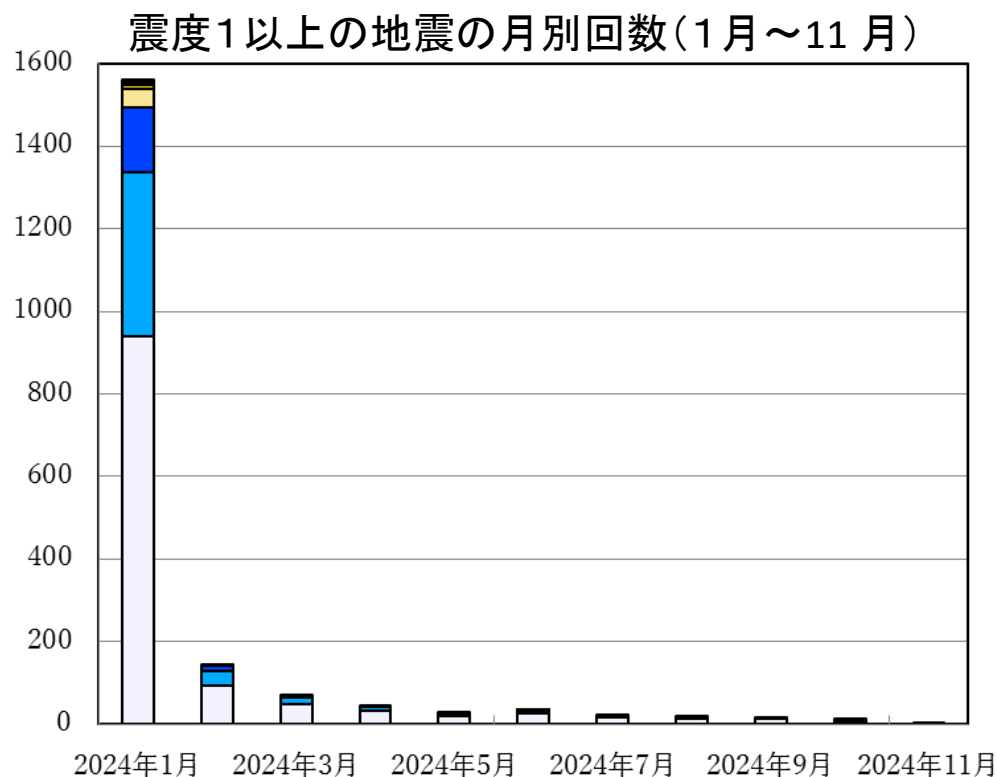
(2024年1月1日00時以降)

矩形領域内の地震活動経過図
(2020年11月以降)

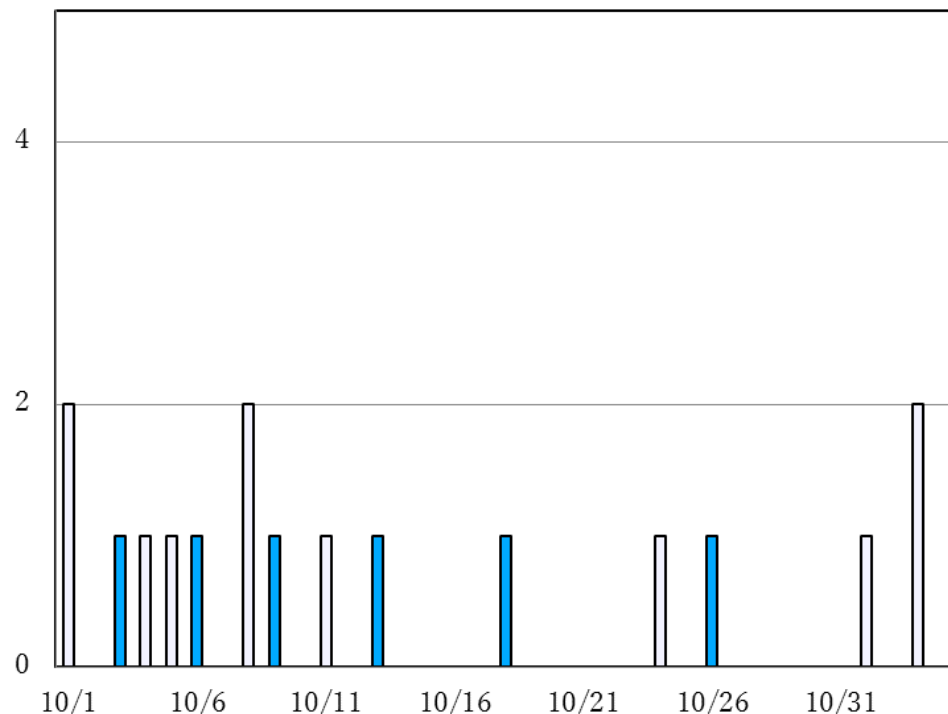


(2024年1月1日00時以降)

令和6年能登半島地震の日別・震度別震度回数(令和6年1月1日以降)



震度1以上の地震の日別回数(10月1日～11月4日)



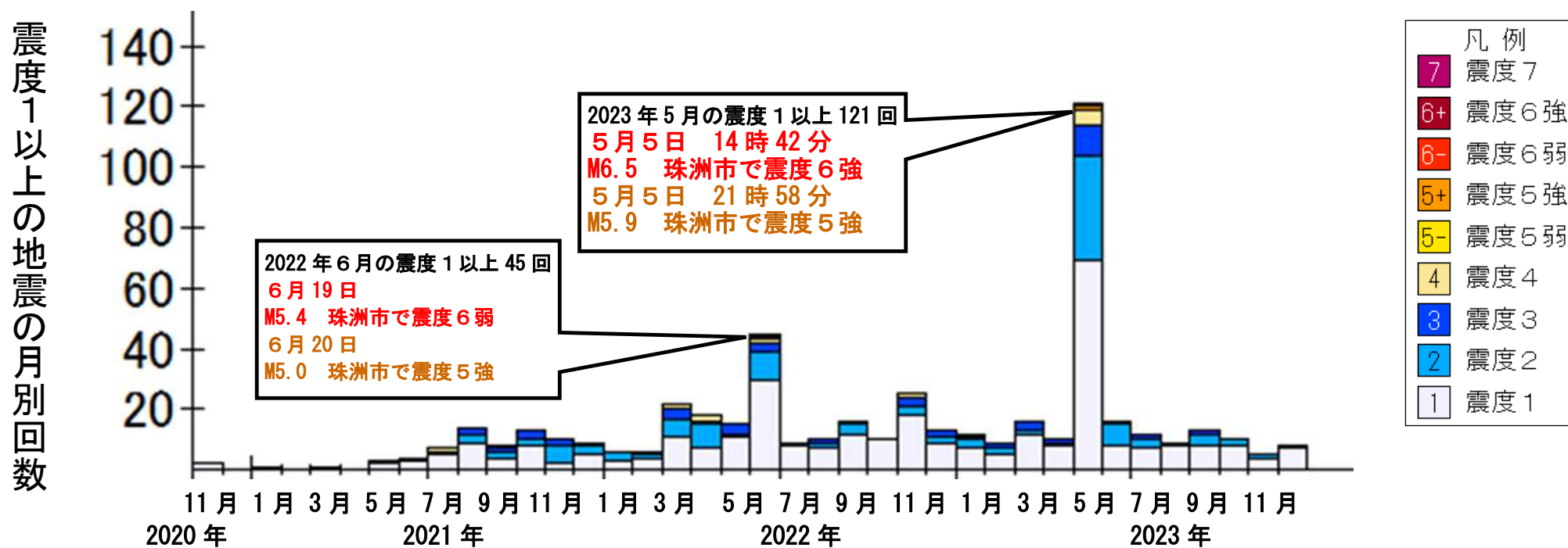
令和6年能登半島地震の地震活動による日別・震度別震度回数グラフ
(2024年1月1日～11月4日24時まで)

○ 1月に能登地方で震度1以上を観測した地震は1558回。1月1日から3日は1日100回を超えていたが、次第に回数は減少。

2月は144回、3月は70回、4月は45回、5月は28回、6月は35回、7月は20回、8月は18回、9月は18回、10月は14回、11月は3回観測した。

(注)掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

令和6年能登半島地震の地震活動による月別・震度別震度回数(令和5年12月31日まで)



令和6年能登半島地震の地震活動による月別・震度別震度回数グラフ
 (2020年11月1日～2023年12月31日まで)

※令和6年能登半島地震の地震活動と防災事項については、下記のポータルサイトが充実していますので、こちらも参照願います(この資料も掲載しています)。

○金沢地方気象台HP「石川県能登地方の地震活動と防災事項ポータルサイト」

<https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/notojishinportal.html>